

■発行日 2023年 7月10日  
■発行責任者 加賀 正孝

■郡山市西田町木村字池の上18-2 あいた一男後援会事務所  
■電話/FAX 024-983-0949

## 議会活動報告

郡山市の6月定例議会で、6月22日(木)會田一男議員が一般質問に登壇し、敬老会、通学路の安全対策など6項目に渡って質問しました。

重要と思われる項目を抜粋して以下に掲載します。詳細は「あいた一男ホームページ」をご覧ください。



### 敬老会について \*回答は保健福祉部

多年に渡り社会に尽くして来た老人を敬愛し、長寿を祝う催し物が敬老会です。先人が日本の戦後復興に努力し、さらに日本経済の発展に尽くされた結果、今の日本があり、われわれは今安心して生活することが出来ています。

主催者側の高齢化という理由で、敬老会を開催するなら各地区でお願いしたいと投げるのは敬老会という行事そのものが継承出来なくなります。

最大の敬意をもって敬老会を開催し、感謝の意を伝える事が大事であるし、また若者、特に小・中学生、保育所の子供たちも参加してお祝いをする事が伝統の継承に繋がります。

そこで、以下、伺います。

#### (1) 敬老会の意義について

郡山市は敬老会の意義についてどのように考えているのか伺います。

【回答】 地域の高齢者の方々に祝意と感謝をお伝えするとともに、孤立化の防止や他世代の敬老意識の醸成に寄与する式典であると認識しています。

#### (2) 今後の敬老会の方向性について

今後、敬老会をどのような行事としていく考えなのか伺います。

【回答】 市と各地区の町内会等が共催で一律に開催して来た**敬老会は終了する。**  
**今後は、それぞれの地区において開催するかどうかご検討いただきたい。**

開催経費の助成については、改めて検討させていただきたい。

#### (3) 次の世代への継承について

敬老会を催して先人の労に報い、長寿を祝うことが次の世代の敬老会に継承されることが大事です。

子どもから若者へ、さらには成人へとお年寄りを大事にする風潮をつないで行くことが必要と思いますが当局の見解を伺います。

【回答】 若い世代の敬老意識の醸成にあたっては、家庭、学校、地域における多様な機会を通じた世代間交流の充実が重要であると考えております。

したがって、「豊かな長寿社会いきいきふれあいの集い」等、従来から行って来ている世代間交流の諸事業は継続します。

### 傍聴者のつぶやき

- ・ 当局の回答は、前置きが長く、結論に至るまでには説明がぼやけてしまっている感じがした。もっと単純・明快な回答は出来ないのか？それとも現状の分りにくいやり方がお役所流儀？
- ・ 役所の回答で「検討します」は、今までの経験から「やらない」と同じ意味。したがって、「開催経費の助成はない！」と思わねばならないし、「敬老会はやめる！」と言われているに等しい。寂しいね。
- ・ 世代間交流は、敬老会のある、なしに関わらず重要だ。開催しているよ！、と体裁だけ整えるのではなく内容充実して欲しいね。
- ・ 議員の質問は当局に優しいな。もっと根本的な所まで踏み込んで鋭く質問してよ！ (記:風子)



## 通学路の交通安全対策について \*回答は学校教育部、建設部

### (1) 交通安全対策が必要な通学路について

通学路の安全点検はしばしば行われ、次々と安全対策をしなければならない箇所が上がって来ていると思います。

#### ① 交通安全点検の実績について

昨年度の郡山市内の安全点検を実施した実績について伺います。

【回答】 小学校11校、中学校5校、義務教育学校1校、計17校から要望のあった県道8か所、市道16箇所計24箇所について、関係者延べ302名で合同点検を実施しました。

#### ② 交通安全対策に必要な期間について

今年度においても既に安全点検を実施しているかと思いますが、対策が実施されるまでにはどの位の期間を要しているか伺います。

【回答】 今年度の合同点検・対策会議は6月下旬までに終了する見込みであり、その後、対策の実施に当たっては管轄する機関がそれぞれ対応することになります。

具体的には、路面表示は発注から施工まで約3か月、区画線やラバーポールの設置、交差点のカラー化は約4か月、グリーンベルトの設置は約6か月、歩道の設置については状況によって数年を要しております。

### (2) 西田学園周辺通学路の交通安全対策について

いつでも子供は大切な宝物であり、通学路の安全対策は待ったなしです。

西田町の例で言えば、南北に走る広域農道、これは西田学園入口の信号から北には歩道がなく、路側帯にグリーンベルトが施されている現状です。

西田学園前を東西に走る市道は学園の付近だけ歩道を設置していただきましたが、高野分館から鬼生田橋までの間、朝の通勤時間帯午前7時から8時までの間の交通量が非常に多く、それに通学時間帯が重なります。

徒歩や自転車で通学してくる児童生徒を見ておりますと、車に煽られて転倒などしないで、と願うばかりです。

子どもに安全な道路は大人にとっても安全な道路です。一刻も早い通学路の交通安全対策をお願いしたいと思います。但し、当局の見解を伺います。

【回答】 西田学園から北側の広域農道については、2018年度にグリーンベルト約300mを設置しました。その後、土地の確保が出来たことから、今年度より歩道の新設に着手する予定であります。

信号機から西側の市道約1.4kmについては、5月30日に合同点検・対策会議を実施済で対策会議では、側溝の蓋の設置、路面への注意喚起表示などの意見が出され、管轄する機関がそれぞれ対応することになっております。

今後においては、関係機関と連携し、ハード面の整備を進めるとともに、保護者や地域の皆様に児童生徒の安全確保について依頼し、地域ぐるみで子どもを守る取組に協力いただけるよう働きかけてまいります。



西田学園入口の交差点

## ほっ!とひといき

木村緑寿会(会長:本田朝治)主催の「2023あいた一男杯」グラウンド・ゴルフ大会が、6月25日(日)鬼生田3区の中原公園で4年ぶりに開催された。

快晴の絶好のコンディションに恵まれ、18名の精鋭が腕を競い、接戦の末栄冠を手にしたのは鬼生田3区の歌川一さんでした。

《上位入賞者》

優勝	歌川 一	(鬼生田3区)	2R合計打数	36
準優勝	石井ミチ子	(鬼生田3区)	〃	38
第3位	石井 信夫	(鬼生田3区)	〃	38
第4位	松崎 利一	(木村)	〃	38
第5位	山川 功	(鬼生田3区)	〃	42



歌川一さん あいた一男議員  
石井ミチ子さん 石井信夫さん